

段階的選抜方式に関する補足説明書(FAQ)

Q1_段階的選抜方式とは何か。

A1_本方式は、総合評価落札方式の技術提案評価型、または、高度技術提案型において、競争参加資格を有すると東日本高速道路株式会社が認めた者(以下、「有資格者数」という。)のうち、本工事に係る技術的能力に関する事項を評価することにより、一定の技術水準に達した者を選抜(以下、「一次審査」という。)し、選抜された競争参加者に技術提案書の提出を求め技術評価(以下、「二次審査」という。)を行い、競争入札を行う方式です。

Q2_一次審査と二次審査はどういうものか。

A2_一次審査は、技術提案書の提出を求める者を選抜するために、書面(競争参加資格確認申請書様式2_技術資料)に基づき審査するものです。二次審査は、技術評価を行うために、書面(技術提案書)およびヒヤリングに基づき審査するものです。一次審査および二次審査の技術評価項目は、入札公告(説明書)にて確認してください。

Q3_一次審査の技術評価点は何に使用するのか。

A3_一次審査の技術評価点は、本工事に係る技術的能力に関する評価点であり、一次審査の選抜者を決めるために用いる点数です。二次審査における評価や落札者決定には用いられません。

Q4_落札者の決定に使用する「技術評価点」は何を用いるのか。

A4_落札者の決定に使用する「技術評価点」は、二次審査で付与する技術提案書の技術評価の点数を用います。

Q5_一次審査はいつ行うのか。

A5_一次審査は、競争参加資格確認申請書の提出期限後に行います。

Q6_一次審査の結果はいつ通知されるのか。

A6_一次審査の結果については、競争参加資格確認通知書にて行います。

競争参加資格確認通知書では、「競争参加資格の有無」と「技術提案書の提出要請の有無」を通知します。「競争参加資格の有無」が「有」で、かつ、技術提案書の提出を要請された参加者のみ、提出された技術提案書により二次審査を行います。

Q7_一次審査の選抜者数はいくつか。

A7_原則として、一次審査の技術評価点の上位5者を選抜します。

有資格者数が5者以下の場合は、一次審査を行わず、すべての有資格者を選抜します。また、一次審査の技術評価点と同点の者が複数いる場合で、5位以内の者が6者以上の場合は、一次審査の技術評価点と同点の者を含めて選抜します。なお、技術提案書の提出者に選抜された者の辞退等により、選抜者数が5者に満たなくても、技術提案書の提出者に選

拔されなかった者を新たに選抜することはありません。

Q8_競争参加資格確認通知書にて、技術提案書の提出要請が行われなかった参加者が技術提案書や入札書を提出した場合はどうなるのか。

A8_技術提案書の提出要請が行われなかった参加者による技術提案書の提出および入札は無効とします。

Q9_一次審査で技術提案書の提出要請が行われなかった場合は、辞退書の提出は必要か。

A9_辞退書の提出は不要です。

Q10_一次審査の技術評価項目の「企業の同種工事の施工実績」について、コリンズでは実績を証明できない場合はどうしたらよいか。

例:トンネル工事の実績自体はコリンズに記載しているが、求める数量(延長など)が記載されていない。

A10_競争参加資格確認申請書提出時に、施工実績が確認できる書類(該当する工事の特記仕様書、単価表、数量表など)を証明書類として添付してください。確認できない場合は、一次審査の技術評価項目「企業の同種工事の施工実績」は加点なしとなります。

Q11_一次審査の技術評価項目「カーボンニュートラルへの取り組み」について、取り組むとした内容は二次審査の技術提案書に記載しても良いか。

A11_「カーボンニュートラルの取り組み」に記載する内容は、二次審査における技術提案の対象としないでください。

Q12_二次審査はいつ行うのか。

A12_二次審査は、技術提案書の提出後に行います。ヒヤリングに関する詳細な日時等は、技術提案書提出要請後に個別に連絡します。

Q13_一次審査の技術評価点、選抜者及び二次審査の技術評価点は公表するのか。

A13_一次審査の技術評価点及び非選抜者、二次審査の技術評価点は、他の調達方式同様、契約締結後に当社 HP にて公表します。

Q14_一次審査の技術評価項目「技術提案書作成にあたっての着目点」について記載した内容と、二次審査の技術提案書に記載する内容は変更してもよいのか。

A14_一次審査の技術評価項目「技術提案書にあたっての着目点」について記載した内容を踏まえて、二次審査の技術提案書を作成してください。これに該当しない場合は、不採用とします。

参考: 手続の概略フローについて

